

旭川

6月8日 第39回歯の健康キャンペーン

日時：平成25年6月8日(土)午後2時より4時30分

場所：旭川大雪アリーナ

標記キャンペーンと平成25年度旭川市健康まつりが合わせて開催された。総入場者数は3,300名弱、



1歳6か月児を対象としたフッ化物塗布は787名に実施、さらに平成24年度から旭川市内全小学校で実施されているフッ化物洗口も多くの市民が体験していた。



当日は北海道護国神社祭に伴う音楽パレードが市の中心部で開催されたこともあり、パレードが終了した午後3時から来場者のピークとなった。

(柴田敏也記)



美唄

平成25年度 よい歯のコンクール

日時：平成25年6月7日(金)午後9時30分より

場所：美唄市保健センター

年々参加者減少傾向にあるこのイベントである3歳児健診でう蝕なしと診断された79名がノミネートされたが、当日コンクールに参加できたのは28名であった。

う蝕なしの子どもたちなので、審査のポイントは清掃状態や歯列不正ということになり、今年は口腔診査の前に上顎Eの頬側と下顎Eの舌側の染め出しを行い、結果的にはこの磨きにくい部分の清掃状態が決め手となって受賞者が決定された。

口腔診査は小森会長と筆者とで行った。その前には保健師さんの衛生指導、また紙芝居などがあり、審査中は歯科衛生士さんによる歯磨き指導も行われていた。最後にみんなで記念写真を撮影し、この写真は来年のカレンダーとなって市内各所に貼付される。

小児の口腔衛生啓発活動としてはとてもいいイベントと思われるが、参加者28人という少人数が問題である。母親が仕事を休んでまで来るわけにはいかない…というのが一番の理由とは思いますが、このまま人数が減り続けるとコンクール自体が成り立たなくなってしまうことより、参加者を増やすということが今後の課題である。

(吉村裕美子記)

